

笑顔で楽しく踊って歌って！ 第25回高齢者ふれあい演芸会

熊石地域の高齢者が企画し、参加する「高齢者ふれあい演芸会」（同実行委員会主催）が2月20日、ふれあい交流センターくまいし館で開かれました。65歳以上の高齢者や老人クラブ会員のほか、八雲老人クラブ連合会員や熊石保育園と相沼保育園の年長組園児など、総勢約300名の参加者が趣向を凝らした踊りや歌を披露しあい、楽しい一日を過ごしました。保育園児の元気いっぱいの踊りや、参加者の日本舞踊やダンスとカラオケに会場から大きな拍手と声援が送られ、約3時間にわたった演芸会は、終始笑顔の中、大盛況のうち幕を閉じました。



生きものへの感謝を！ 山海鳥獣魚族供養法要

山や海などの生きものへの感謝を込めた「山海鳥獣魚族供養法要」が3月5日、熊石根崎町の法蔵寺で営まれ、熊石地域内の漁業従事者やハンターなど24人が参加し、一年間の豊漁や無事を祈りました。供養塔が建てられたのは江戸時代中期の1721年（享保6年）で、大切な生活源であるニシンがとれず生活にも窮し、村が崩壊寸前になった時、勢至堂（現在の法蔵寺）の和尚が村民を集め、「遙か沖合には魚が群を成している。協力して皆でとってはどうか」と話し、村民は半信半疑で出漁すると沖合に漁場を見つけ大漁となり、その翌年には待望のニシンもとれたことから、報恩感謝の意味を込め村民一丸となって、供養塔を境内に建てたと伝わっています。



鮮度がいのち！ 落部漁協地方卸売市場 初せり開催

3月3日、落部漁港に新設された落部漁協地方卸売市場の初せりが行われました。この施設は、水産庁の産地水産業強化支援事業により整備され、消費者のもとへ安全安心な海産物を届けるため、衛生管理機能が強化されたものとなっています。

初せりとなったこの日は、ボタンエビやカレイ、ホタテ貝、ズワイガニなどを漁業者が次々と市場へ運び、卸売業者たちが落部自慢の旬の海産物に目を利かせ、取引を行いました。



絢爛豪華！家族揃っておひなさま鑑賞！ 全国各地のおひなさま展

2月12日～3月3日の間、やくもレディースネット・八雲町郷土資料館主催による、全国各地のおひなさま展が梅雲亭にて開催されました。2月28日には、やくもレディースネットによる甘酒のふるまいも行われ、来場者は甘い香りが立ち込める中、全国各地のおひなさまや手作りのおひなさま、明治後期制作と言われている尾張から移住してきた方が寄付したおひなさまを鑑賞しました。毎年来ているという来場者も「今年もすばらしい。また来年の展示に期待している」と感想を述べ、展示を楽しみました。

